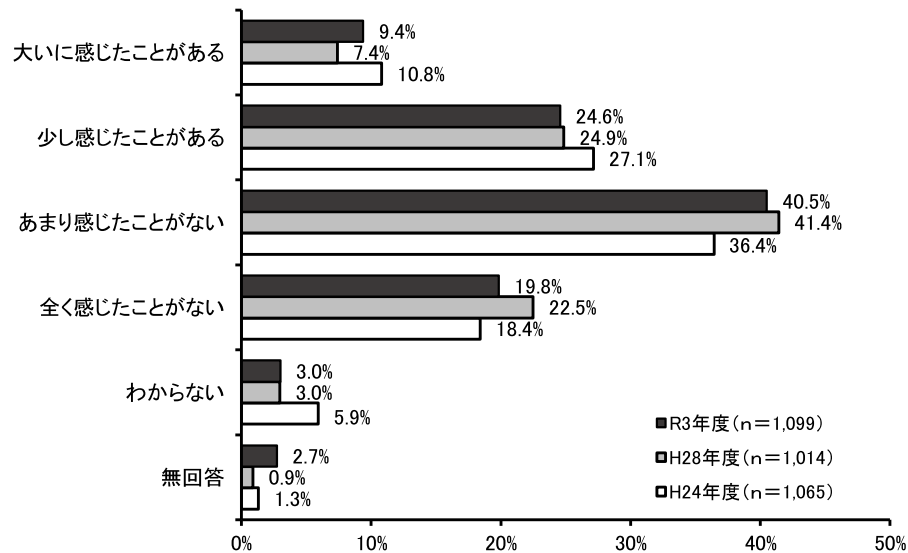


3-1 人権全般について

(1) 人権侵害を受けた経験

問1 あなたは、これまでに人権を侵害されたと感じたことがありますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

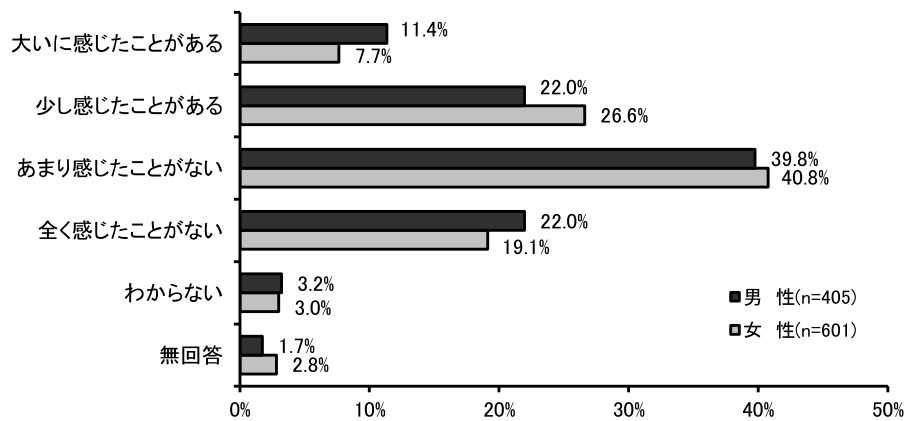


- 「あまり感じたことがない」が40.5%で最も高く、次いで「少し感じたことがある」が24.6%、「全く感じたことがない」が19.8%の順となっている。
- 「大いに感じたことがある」と「少し感じたことがある」を合わせた“人権を侵害されたと感じたことがある”は、34.0%となっている。
- 「あまり感じたことがない」と「全く感じたことがない」を合わせた“人権を侵害されたと感じたことがない”は、60.3%となっている。

【前回・前々回比較】

- 「大いに感じたことがある」は前回の7.4%よりも2.0ポイント増加し、「全く感じたことがない」は前回の22.5%よりも2.7ポイント減少している。
- 「少し感じたことがある」は前回の24.9%よりも0.3ポイント、前々回の27.1%よりも2.5ポイント減少している。
- “人権を侵害されたと感じたことがある”は、前回の32.3%より1.7ポイント増加し、“人権を侵害されたと感じたことがない”は、前回の63.9%より3.6ポイント減少している。

男女別

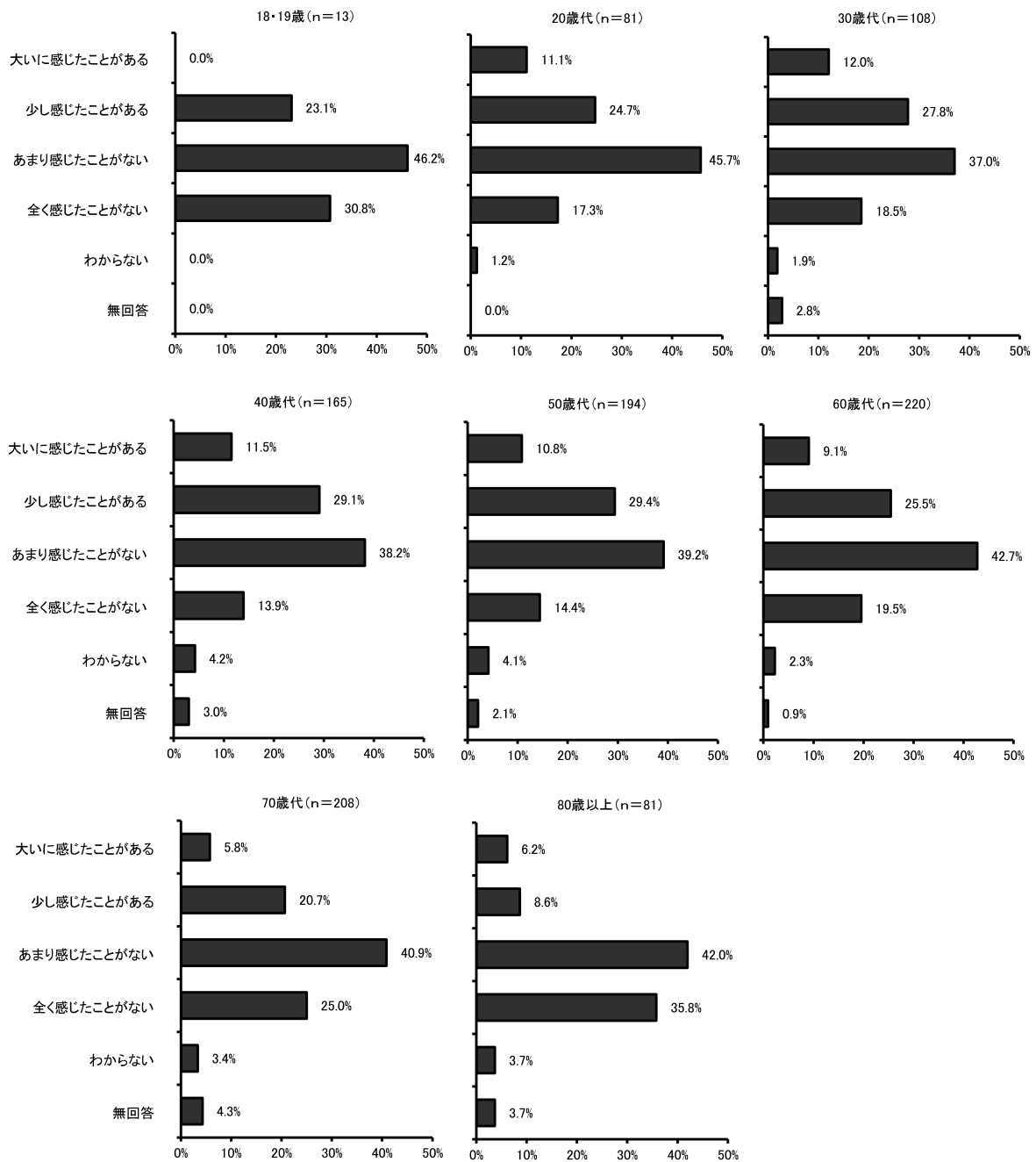


■男女共に「あまり感じたことがない」が最も高くなっている。

■“人権を侵害されたと感じたことがある”は、男性が33.4%、女性が34.3%で、ほとんど差がない。

■“人権を侵害されたと感じたことがない”は、男性が61.8%、女性が59.9%で、ほとんど差がない。

年代別

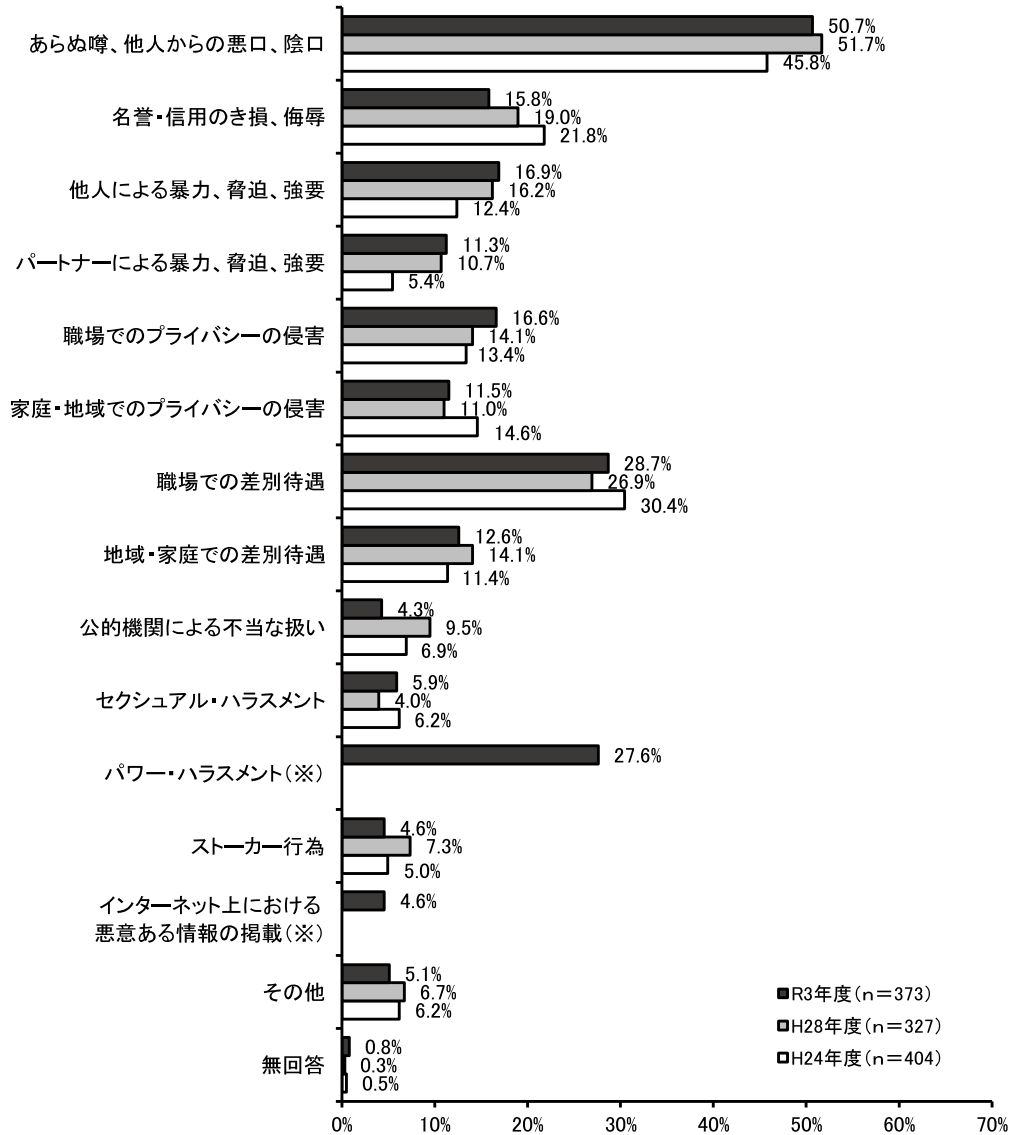


■ いずれの年代においても「あまり感じたことがない」が最も高くなっている。

■ 30～50歳代では“人権侵害をされたと感じたことがある”が、他の年代に比べて高くなっている。

(2) 受けた人権侵害の内容

問2 問1で「大いに感じたことがある」または「少し感じたことがある」を選択された方にお聞きします。それはどのような人権侵害ですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。



■「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が50.7%で最も高く、次いで「職場での差別待遇」が28.7%、「パワー・ハラスメント」が27.6%の順となっている。

【前回・前々回比較】

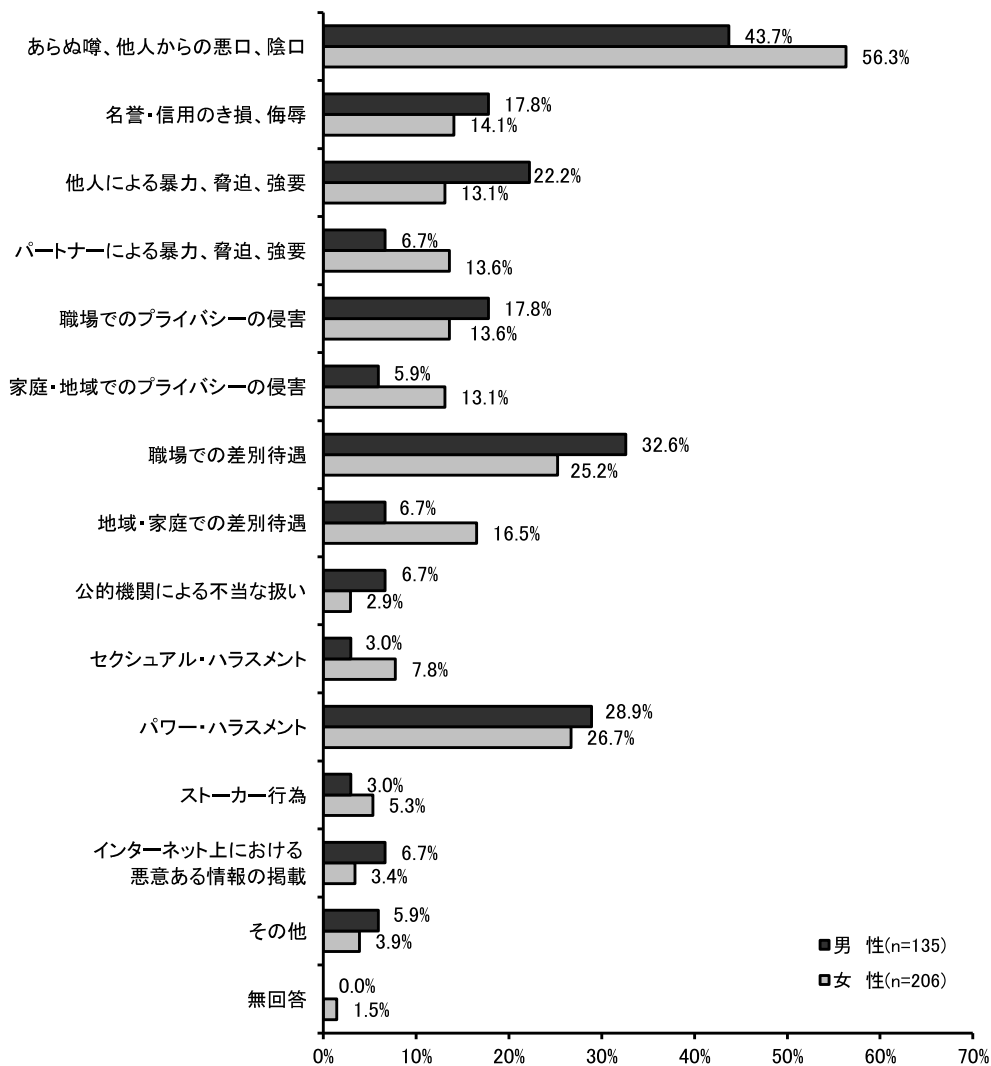
■「職場でのプライバシーの侵害」は、前回の14.1%より2.5ポイント増加し、「公的機関による不当な扱い」は前回の9.5%より5.2ポイント減少している。

■「名誉・信用のき損、侮辱」は、前回の19.0%より3.2ポイント、前々回の21.8%より6.0ポイント減少している。

■今回選択肢を追加した「パワー・ハラスメント」は、27.6%で3番目に高くなっている。

※「パワー・ハラスメント」、「インターネット上における悪意ある情報の掲載」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

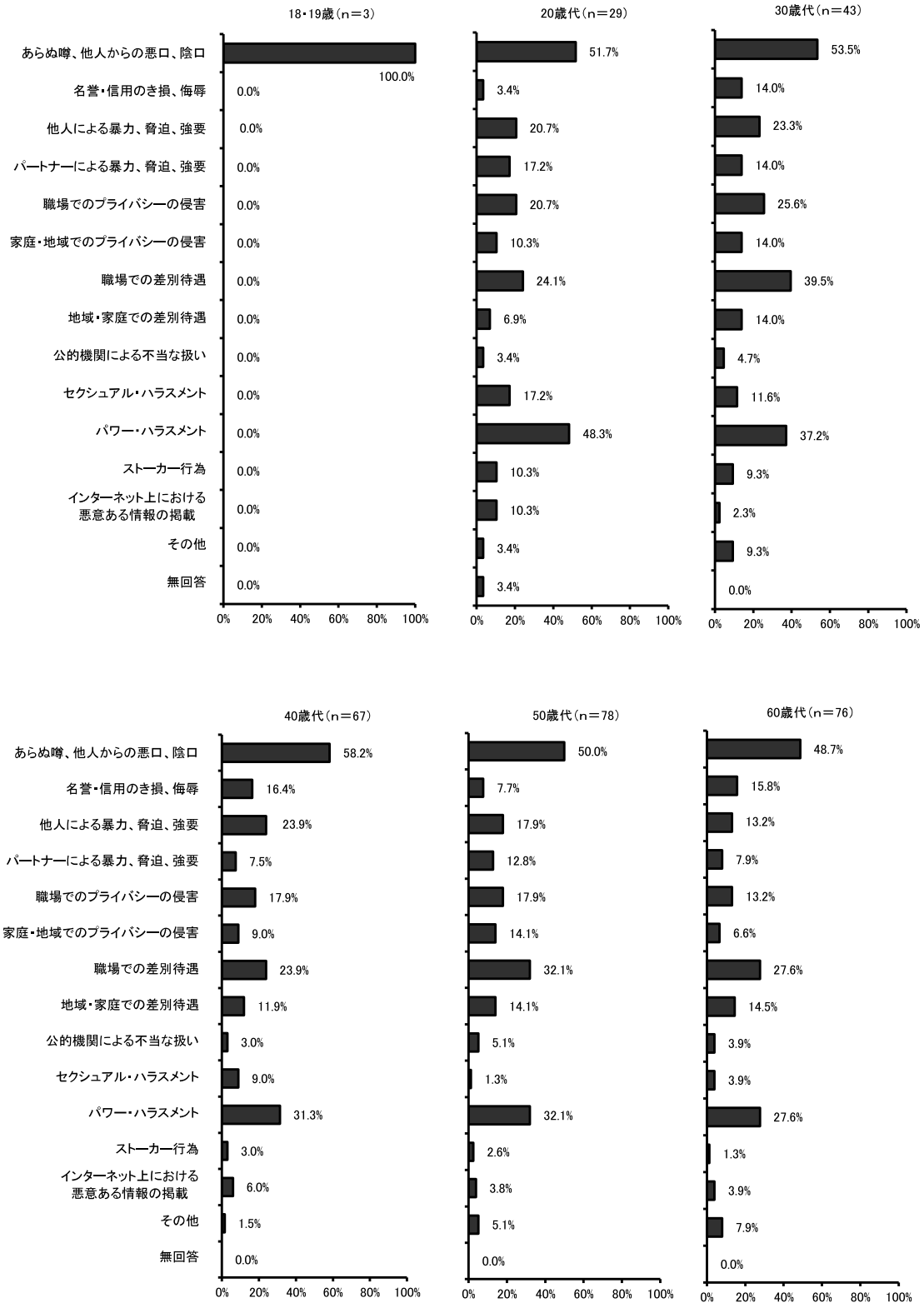
男女別

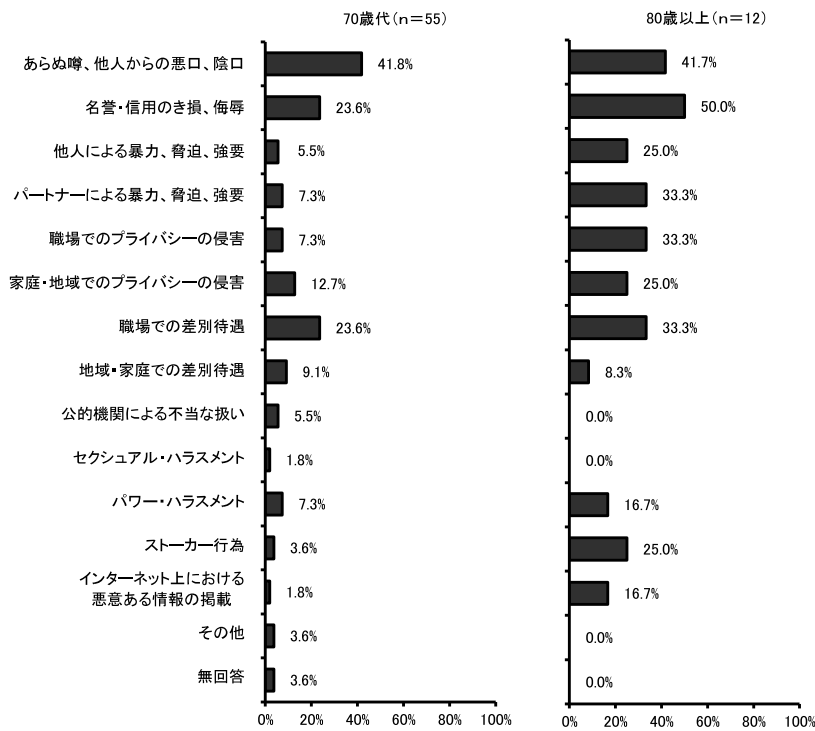


■男女共に「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が最も高く、女性では5割を超えている。

■「職場での差別待遇」は、男性が32.6%で女性より7.4ポイント高く、「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」は、女性が56.3%で男性より12.6ポイント高くなっている。

年代別



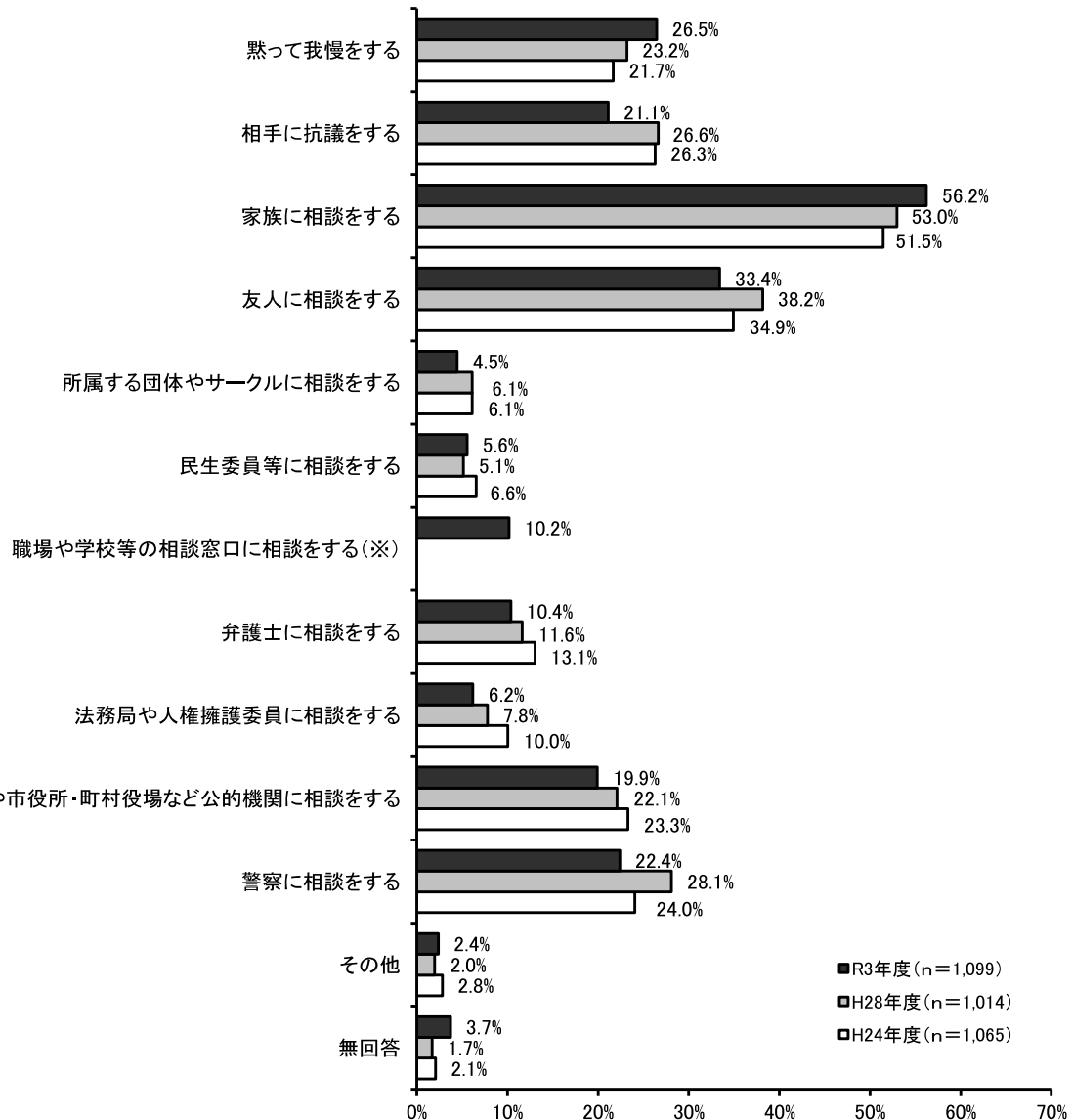


■すべての年代で「あらぬ噂、他人からの悪口、陰口」が高く、40歳代以下では5割を超えている。

■60歳代以下では「パワー・ハラスメント」が、70歳代以上より高くなっている。

(3) 人権侵害を受けたときの対応

問3 もしも人権侵害を受けた場合、どのような対応をしますか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。



■「家族に相談をする」が56.2%で最も高く、次いで「友人に相談をする」が33.4%、「黙って我慢をする」が26.5%の順となっている。

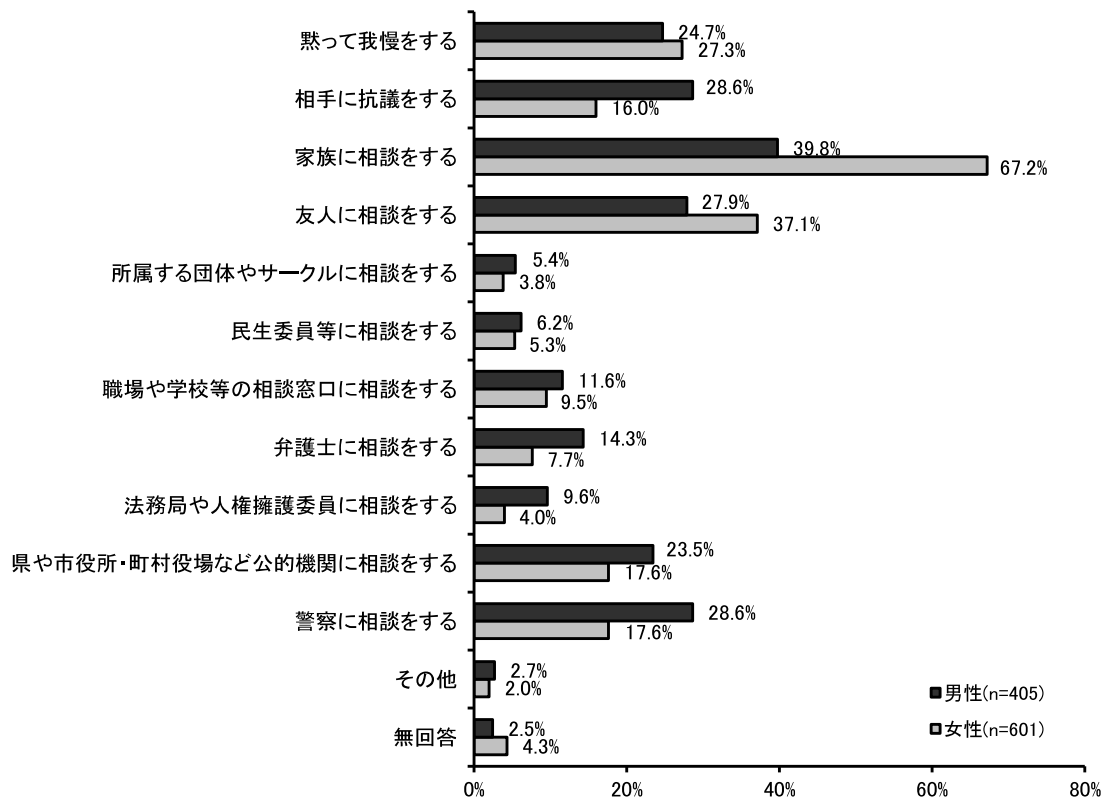
【前回・前々回比較】

■「相手に抗議をする」は、前回の26.6%より5.5ポイント、「警察に相談をする」は、前回の28.1%より5.7ポイント減少している。

■「黙って我慢をする」は、前回の23.2%より3.3ポイント、前々回の21.7%より4.8ポイント、「家族に相談をする」は、前回の53.0%より3.2ポイント、前々回の51.5%より4.7ポイント増加している。

※「職場や学校等の相談窓口相談をする」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

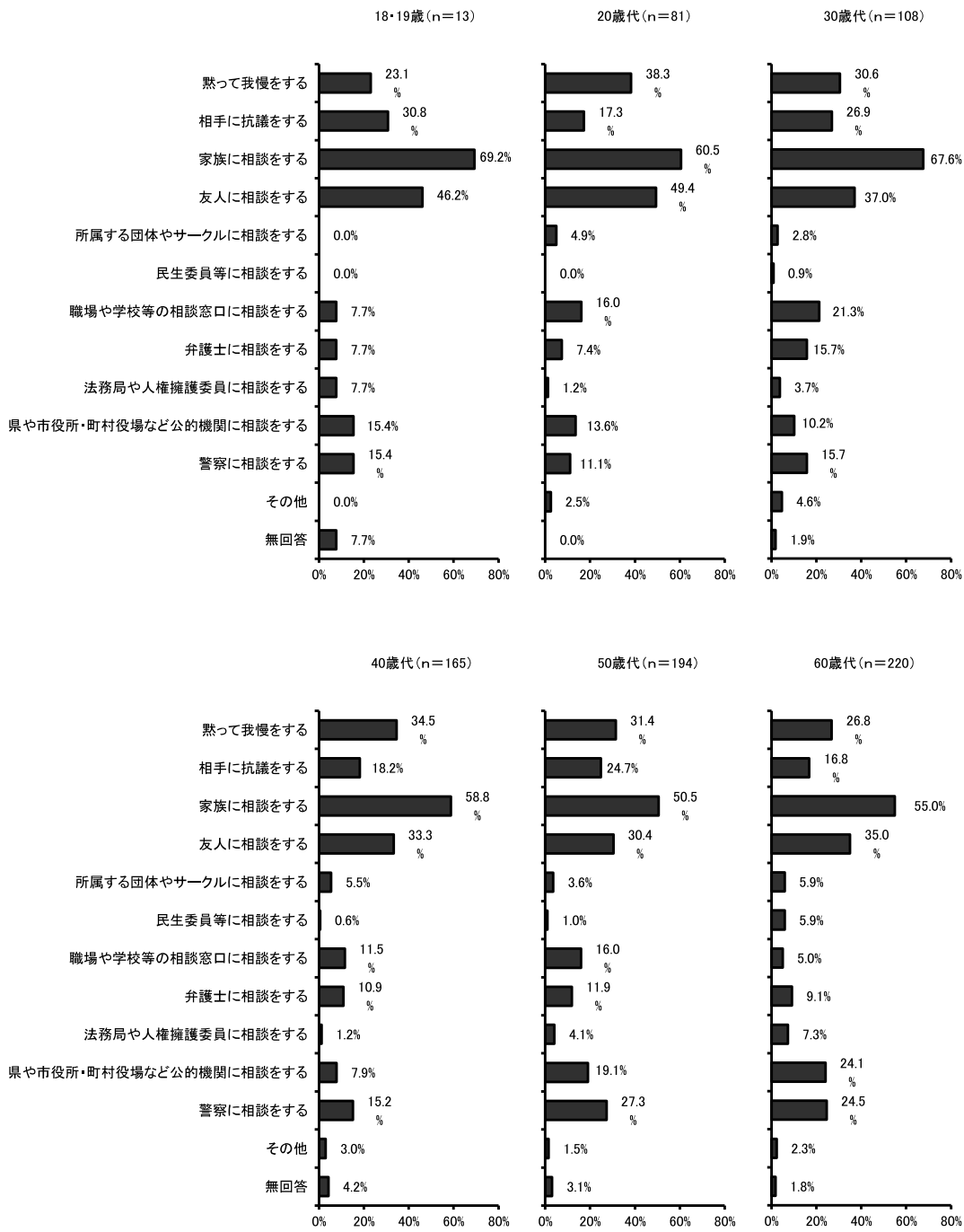
男女別

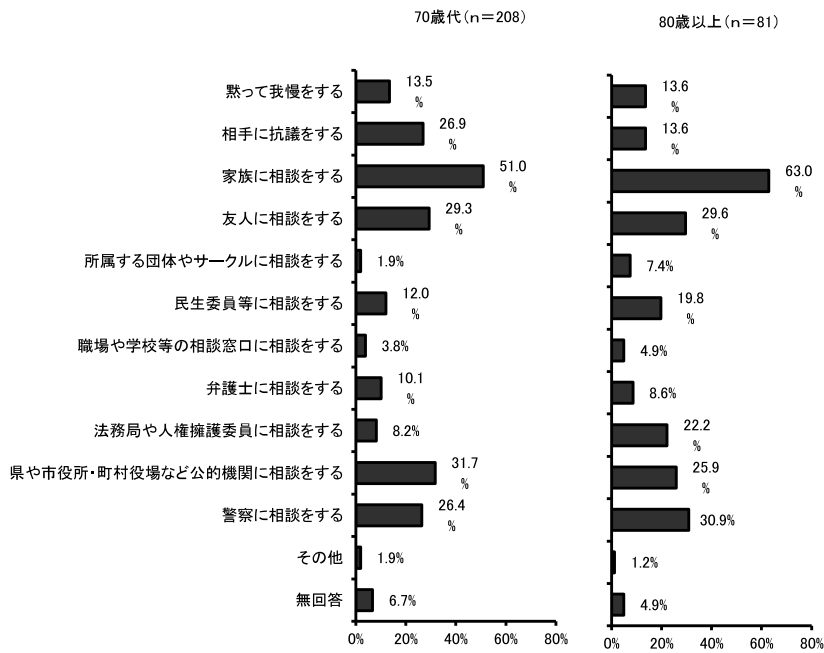


■男女共に「家族に相談をする」が最も高く、女性では6割を超えている。

■「相手に抗議をする」は、男性が28.6%で女性より12.6ポイント、「家族に相談をする」は、女性が67.2%で男性より27.4ポイント高くなっている。

年代別

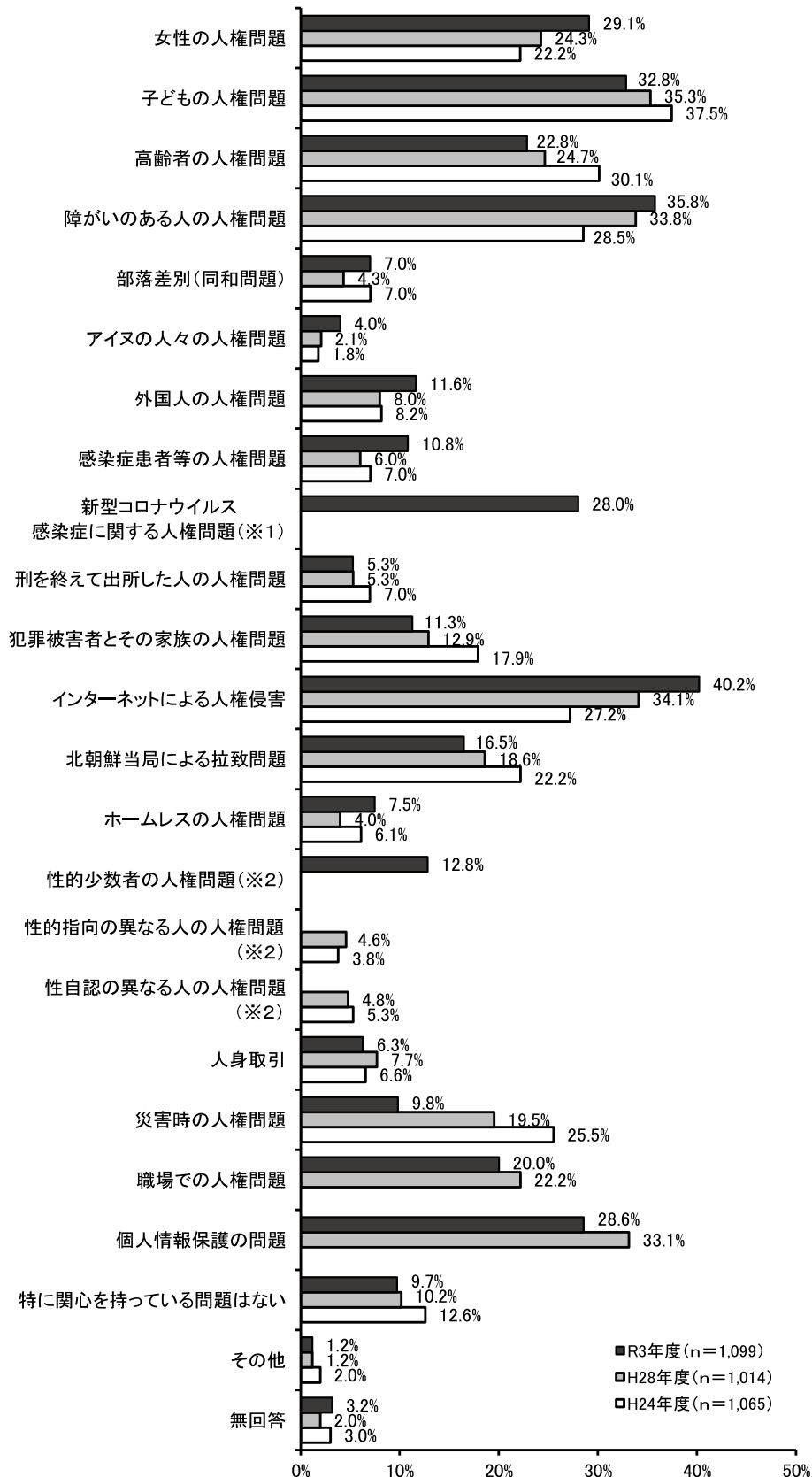




- いずれの年代においても「家族に相談をする」が最も高く、5割を超えている。
- 「友人に相談をする」は、20歳代で49.4%と、他の年代に比べて高くなっている。
- 50歳代以上では「県や市役所・町村役場など公的機関に相談をする」、「警察に相談をする」が40歳代以下より高くなっている。
- 60歳代以下では「黙って我慢をする」が70歳代以上より高くなっている。

(4) 現在関心をもっている人権問題

問4 以下にあげた各人権問題の中で、あなたが現在関心をもっているものはどの問題ですか。次の中からいくつでも選んで○をつけてください。



- 「インターネットによる人権侵害」が40.2%で最も関心が高く、次いで「障がいのある人の人権問題」が35.8%、「子どもの人権問題」が32.8%の順となっている。

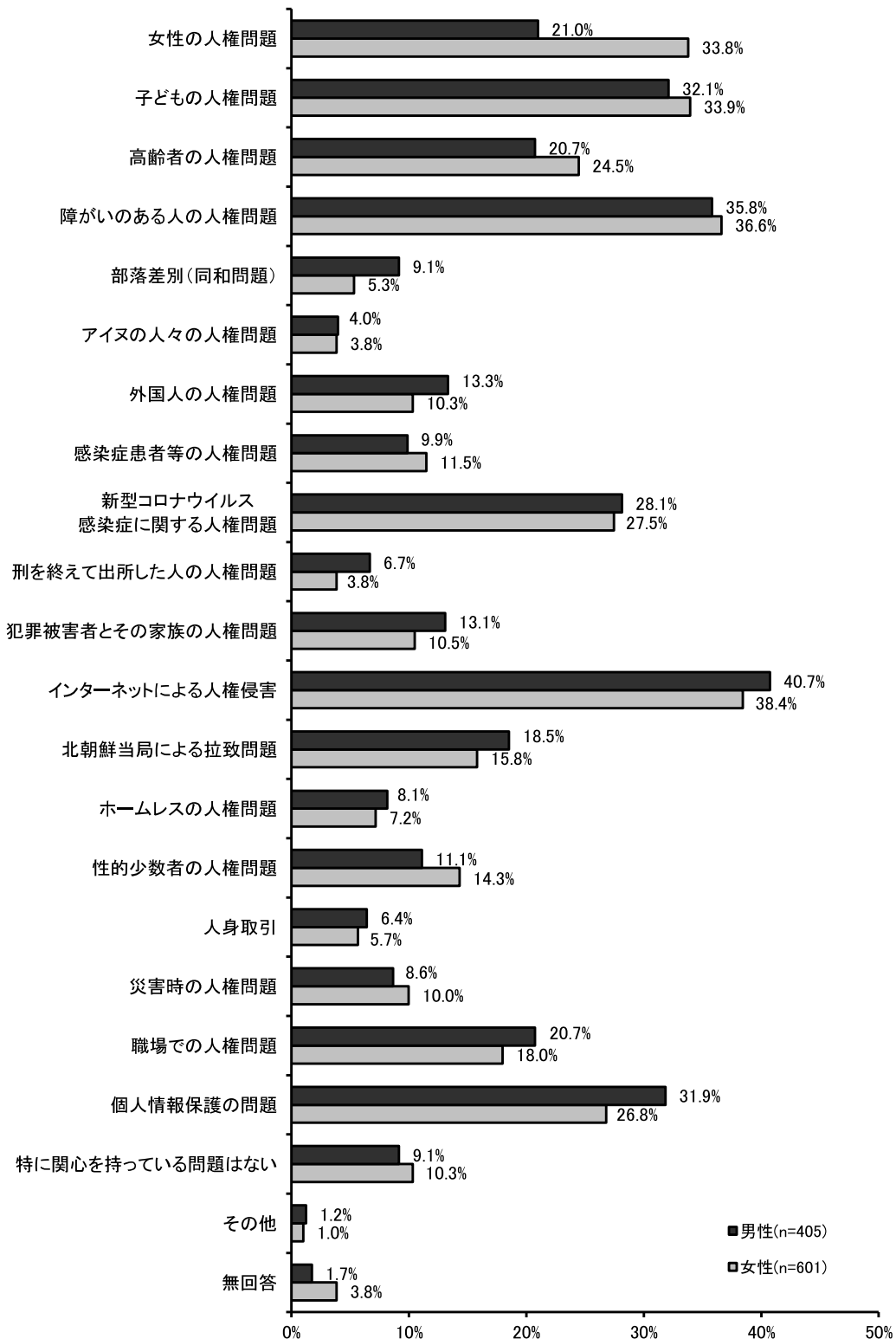
【前回・前々回比較】

- 「インターネットによる人権侵害」は、前回の34.1%より6.1ポイント、前々回の27.2%より13.0ポイント増加している。
- 「障がいのある人の人権問題」は、前回の33.8%より2.0ポイント、前々回の28.5%より7.3ポイント増加している。
- 「災害時の人権問題」は、前回の19.5%より9.7ポイント、前々回の25.5%より15.7ポイント減少している。
- 「高齢者の人権問題」は、前回の24.7%より1.9ポイント、前々回の30.1%より7.3ポイント減少している。
- 今回選択肢を追加した「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題」は、28.0%で6番目となっている。

※1 「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

※2 前回調査の「性的指向の異なる人の人権問題」及び「性自認の異なる人の人権問題」を統合し、「性的少数者の人権問題」としている。

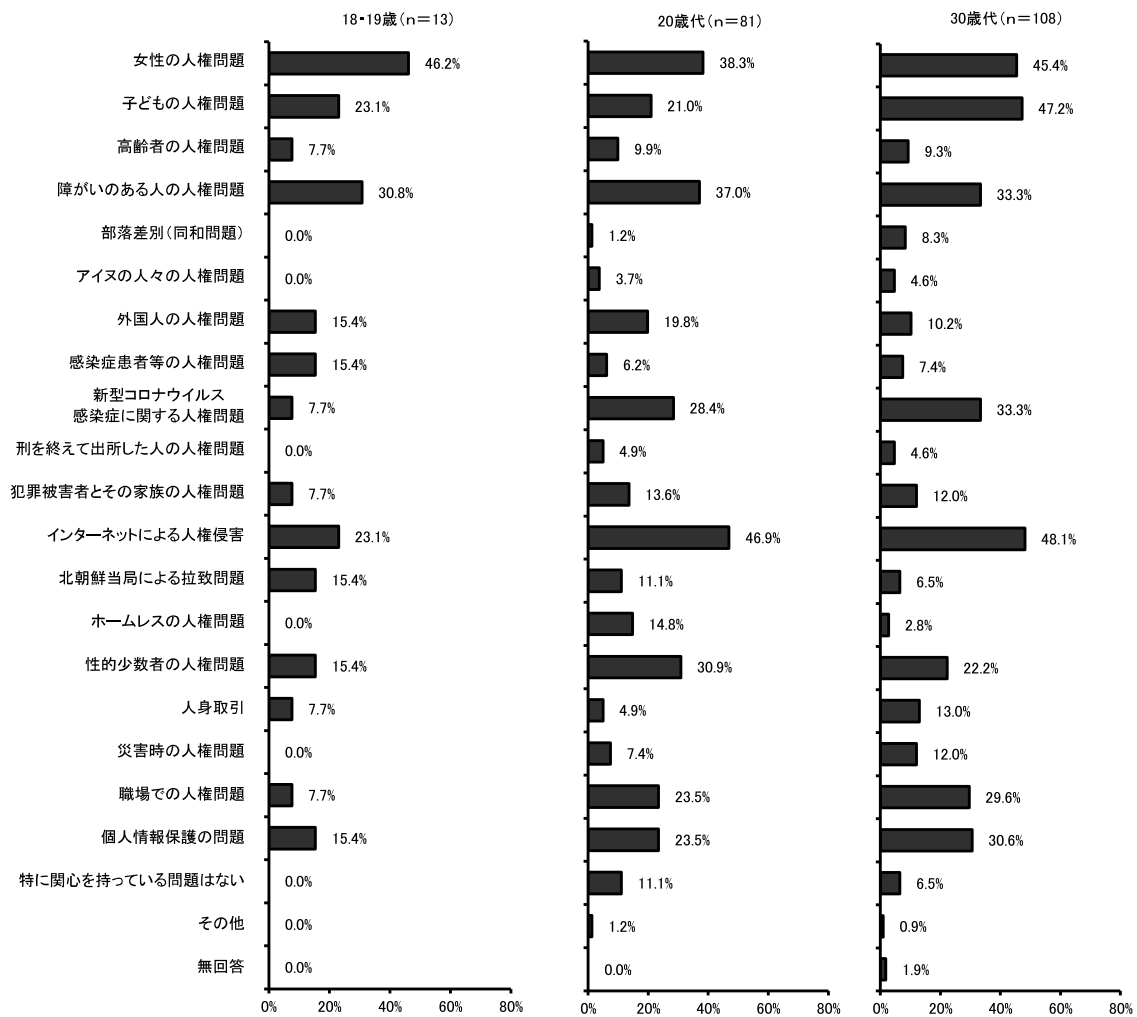
男女別

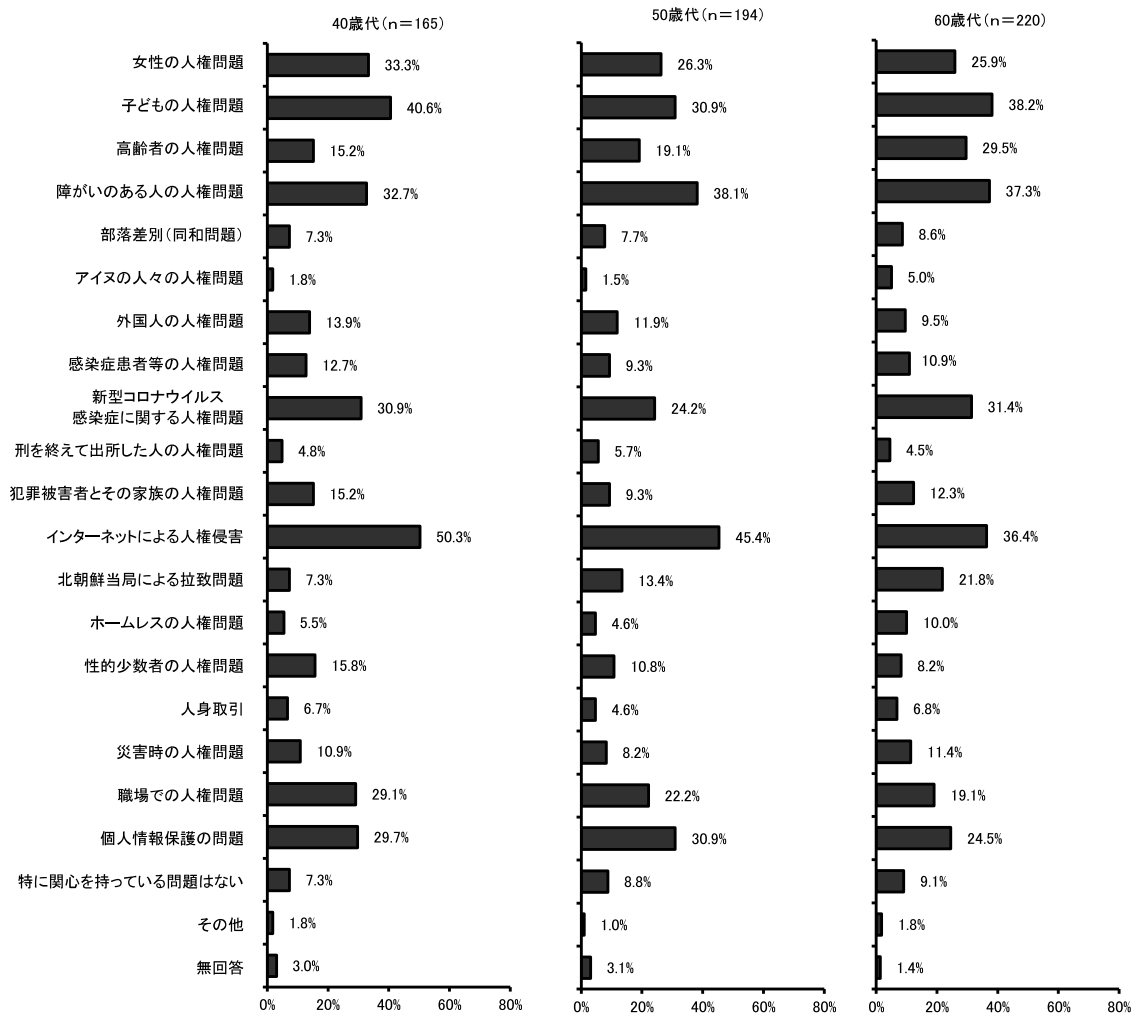


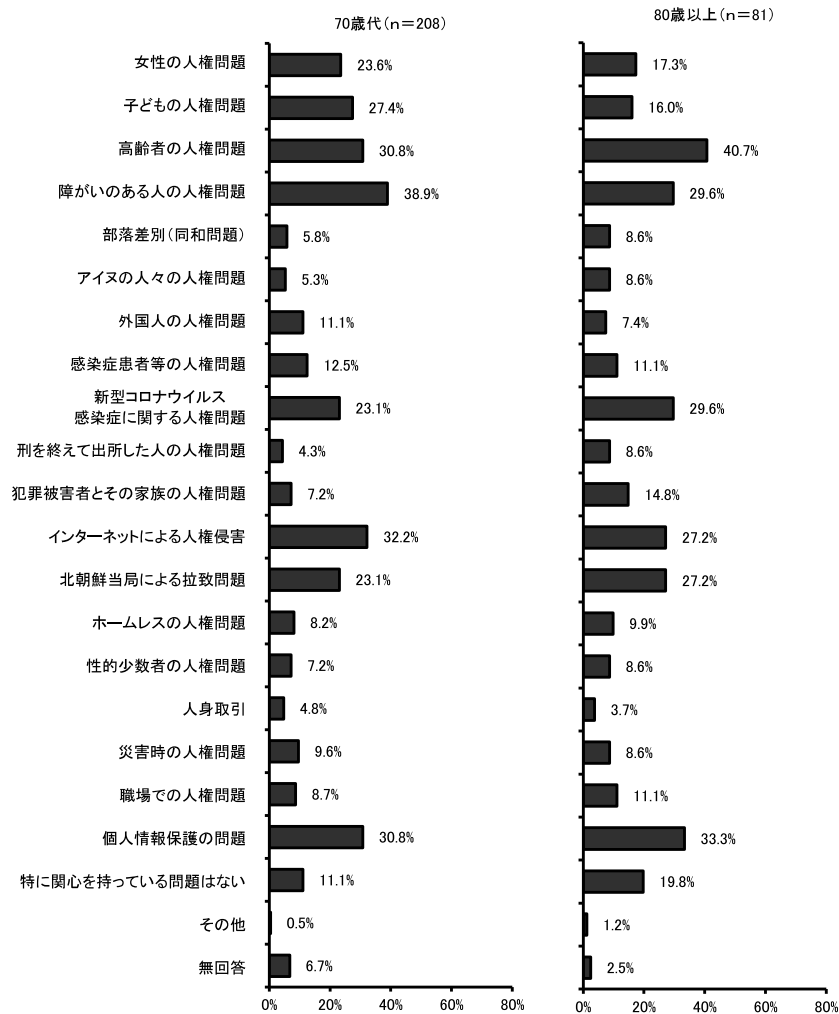
■男女共に「インターネットによる人権侵害」の関心が最も高くなっている。

■「個人情報保護の問題」は、男性が31.9%で女性より5.1ポイント、「女性の人権問題」は、女性が33.8%で男性より12.8ポイント高くなっている。

年代別



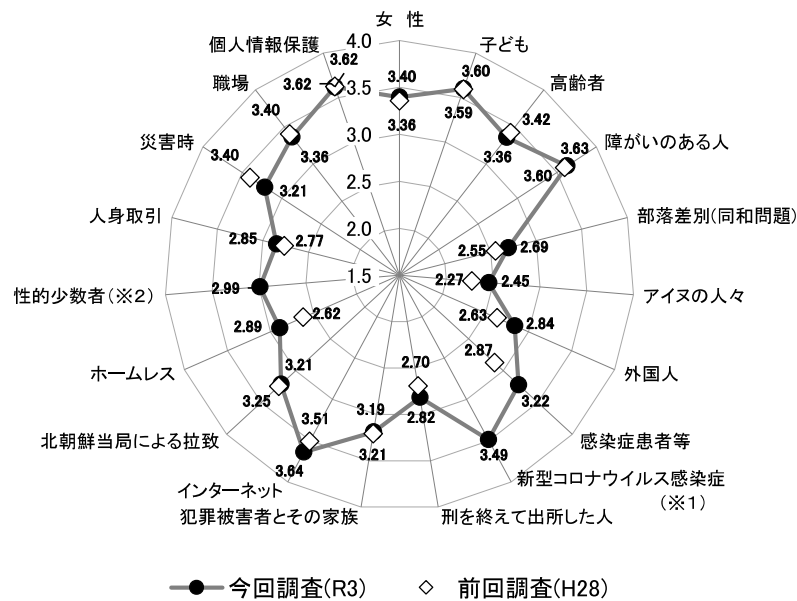




- 50 歳代以下では「インターネットによる人権侵害」、60 歳代では「子どもの人権問題」、70 歳代では「障がいのある人の人権問題」、80 歳以上では「高齢者の人権問題」が最も高くなっている。
- 「女性の人権問題」は、40 歳代以下で、50 歳代以上より高くなっている。
- 「子どもの人権問題」は、30～40 歳代で、他の年代に比べて高くなっている。
- 「高齢者の人権問題」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
- 「障がいのある人の人権問題」は、いずれの年代においても高くなっている。
- 「インターネットによる人権侵害」は、いずれの年代においても高く、50 歳代以下で、60 歳代以上より高くなっている。
- 「性的少数者の人権問題」は、若い年代ほど高くなる傾向がみられ、特に 20 歳代では 30.9% となっている。

(5) 各人権問題に対する関心度

- 問5において、各人権問題についての関心がどの程度あるのか、「かなりある」「まあまあある」「ふつう」「あまりない」「まったくない」の5段階で調査した。
- 調査結果について、「かなりある」を5点、「まあまあある」を4点、「ふつう」を3点、「あまりない」を2点、「まったくない」を1点とし、回答者による平均点を算出した（これを「関心度」と呼ぶ）。



- 「インターネットによる人権侵害」が3.64点で最も高く、次いで「障がいのある人の人権問題」が3.63点、「個人情報保護の問題」が3.62点、「子どもの人権問題」が3.60点、「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題」が3.49点、「女性の人権問題」が3.40点、「高齢者の人権問題」「職場での人権問題」が3.36点、「感染症患者等の人権問題」が3.22点の順となっている。
- 一方で「アイヌの人々の人権問題」が2.45点で最も低く、次いで「部落差別(同和問題)」が2.69点、「刑を終えて出所した人の人権問題」が2.82点、「外国人の人権問題」が2.84点、「人身取引」が2.85点、「ホームレスの人権問題」が2.89点の順となっている。

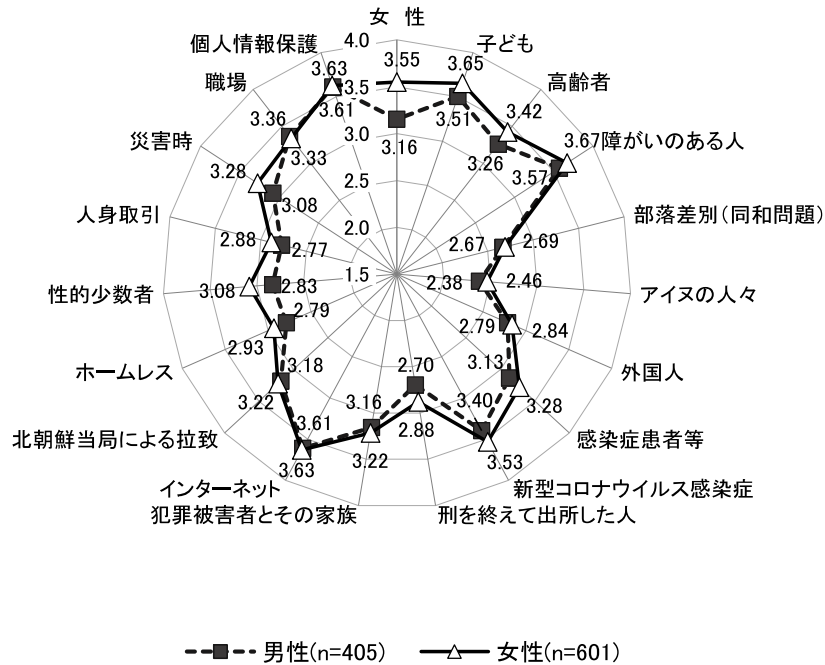
【前回比較】

- 「感染症患者等の人権問題」は前回より0.35点、「ホームレスの人権問題」は0.27点増加しており、「災害時の人権問題」が0.19点減少している。

※1 「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

※2 前回調査の「性的指向の異なる人の人権問題」及び「性自認の異なる人の人権問題」を統合し、「性的少数者の人権問題」としている。

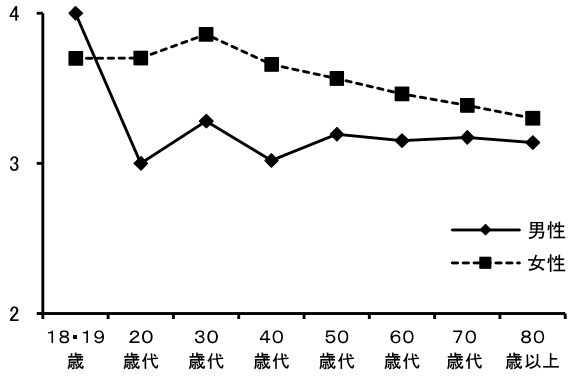
男女別



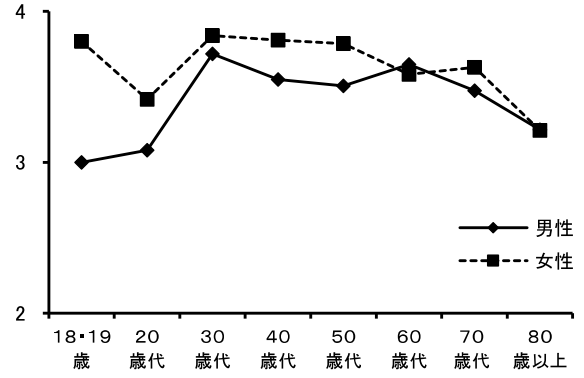
- 関心度が最も高い「インターネットによる人権侵害」は、男性が 3.61 点、女性が 3.63 点、次いで「障がいのある人の人権問題」は、男性が 3.57 点、女性が 3.67 点、「個人情報保護の問題」は、男性が 3.61 点、女性が 3.63 点となっており、関心度の低い「アイヌの人々の人権問題」は、男性が 2.38 点、女性が 2.46 点となっている。
- 「女性の人権問題」の関心度は、男性が 3.16 点、女性が 3.55 点で、女性が 0.39 点高く、「性的少数者の人権問題」の関心度は、男性が 2.83 点、女性が 3.08 点で、女性が 0.25 点高くなっている。
- 男女共に 3 点以上となった関心度は 19 項目中、12 項目となっている。

性別・年代別

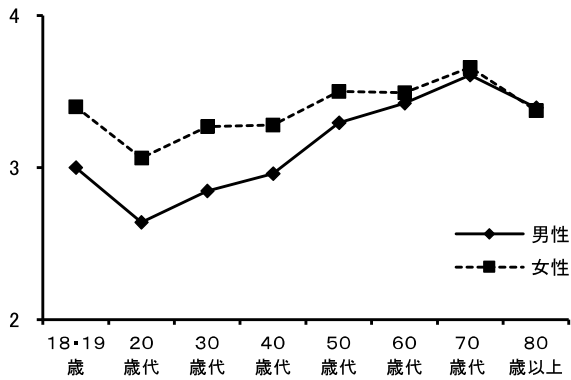
女性の人権問題



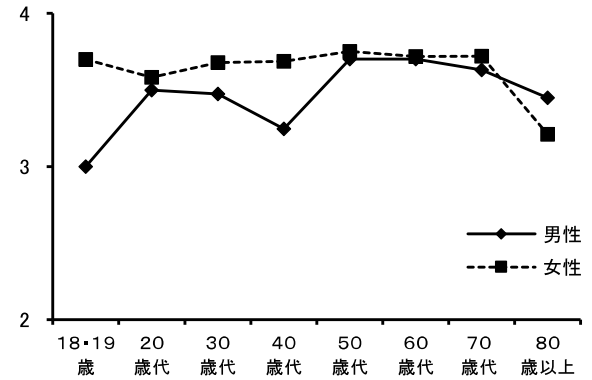
子どもの人権問題



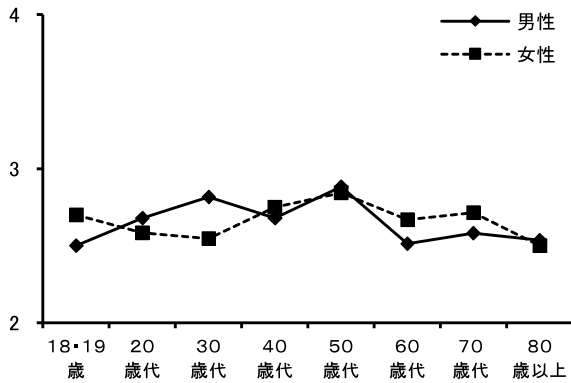
高齢者の人権問題



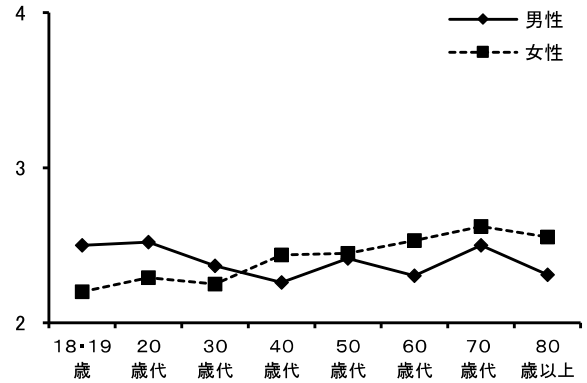
障がいのある人の人権問題



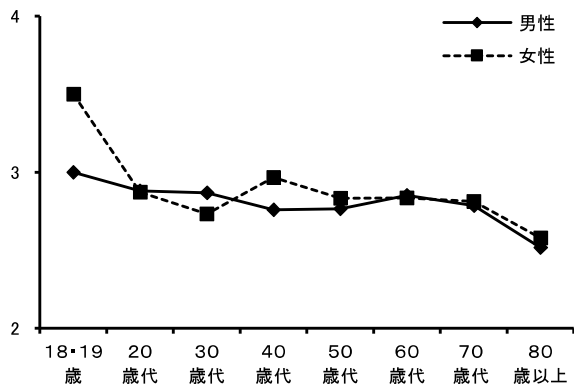
部落差別（同和問題）



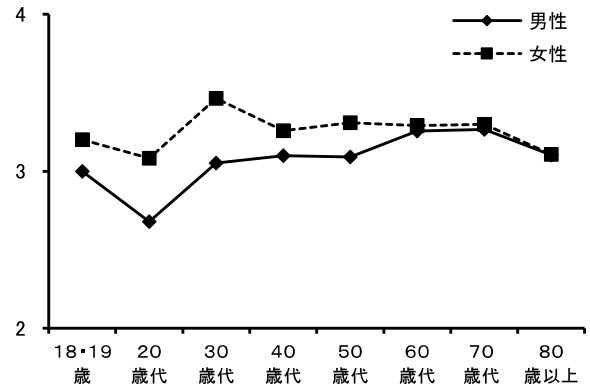
アイヌの人々の人権問題



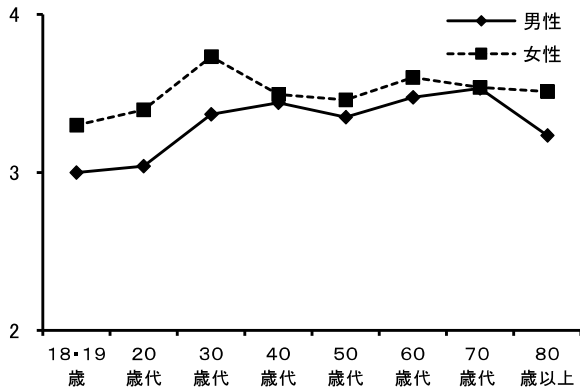
外国人の人権問題



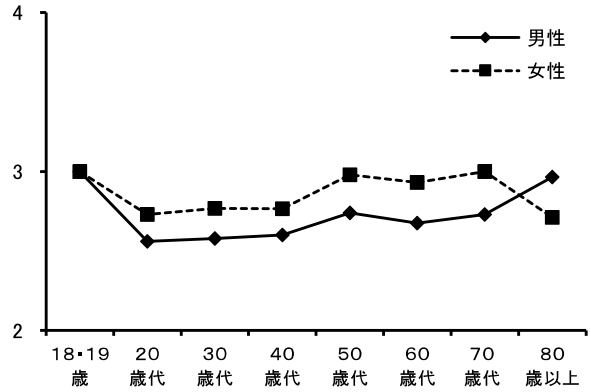
感染症患者等の人権問題



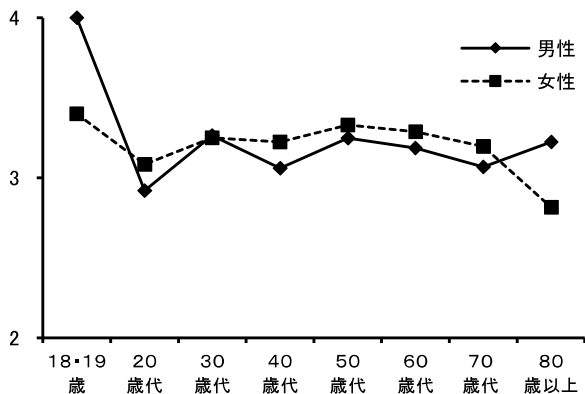
新型コロナウイルス感染症に関する人権問題



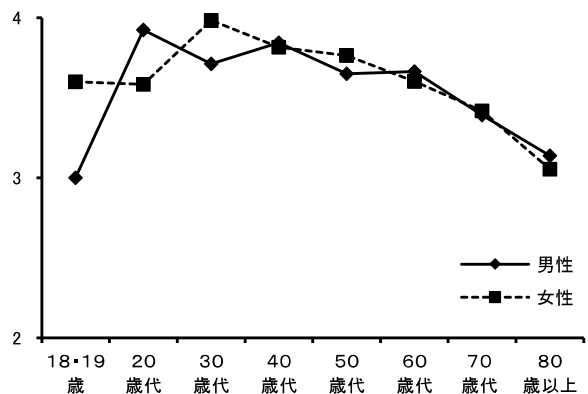
刑を終えて出所した人の人権問題



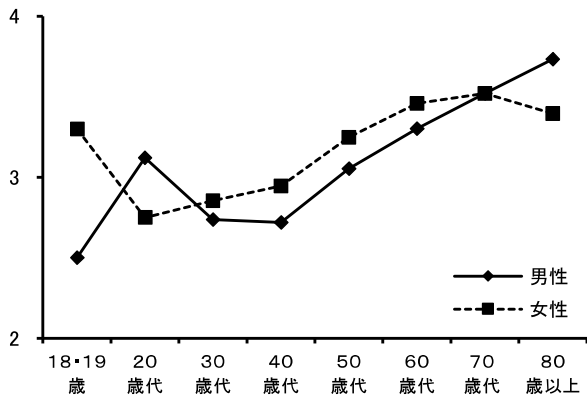
犯罪被害者とその家族の人権問題



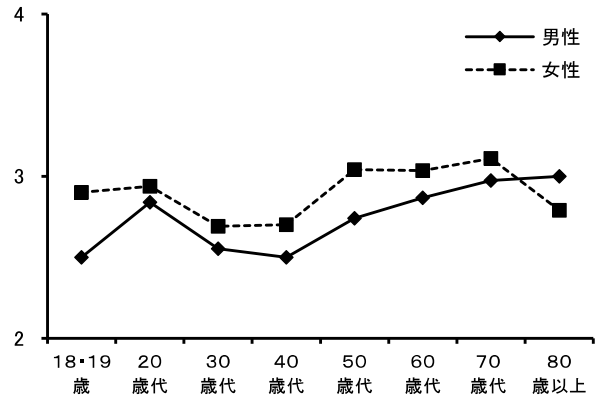
インターネットによる人権侵害



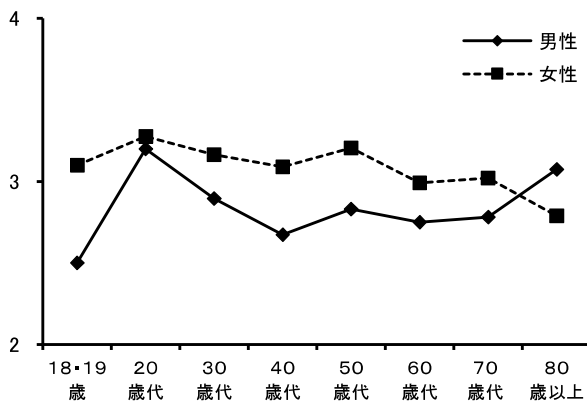
北朝鮮当局による拉致問題



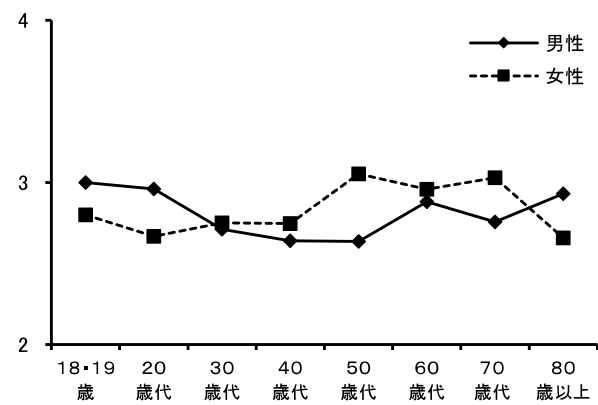
ホームレスの人権問題



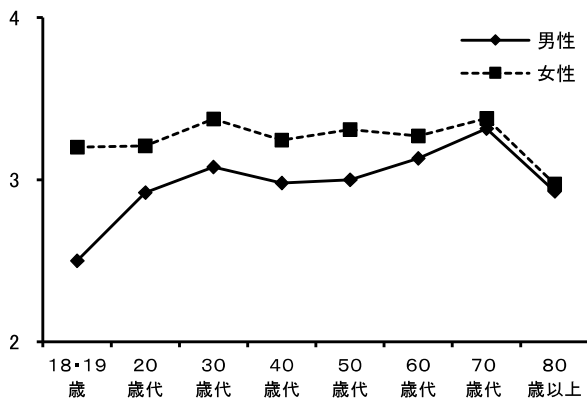
性的少数者の人権問題



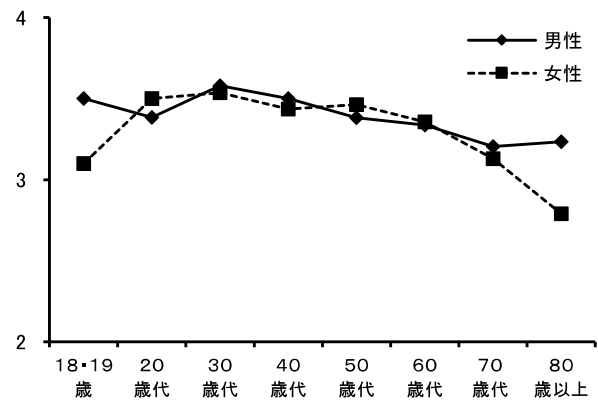
人身取引



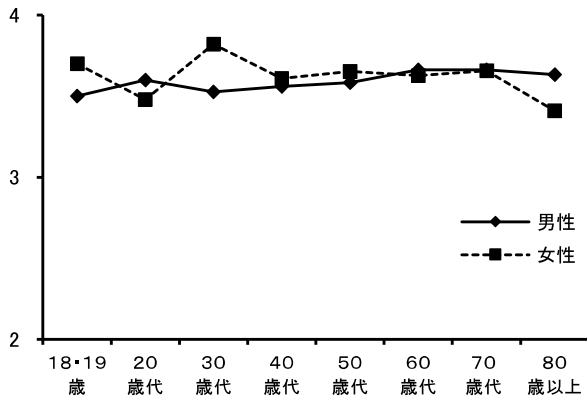
災害時の人権問題



職場での人権問題



個人情報保護の問題



- 「女性の人権問題」の関心度は、いずれの年代においても女性が男性より高くなっている。男性は年代ごとの差はほとんどないが、女性は若い年代ほど高く、男性との差が大きくなっている。
- 「子どもの人権問題」の関心度は、男女共に30～50歳代を中心に高く、20歳代、80歳以上では低くなっている。
- 「高齢者の人権問題」の関心度は、男女共に年代が上がるにつれて高くなり、男女の差も小さくなっている。
- 「障がいのある人の人権問題」の関心度は、男女共に高く、40歳代男性、80歳以上女性を除いて年代ごとの差はほとんどない。
- 「部落差別（同和問題）」の関心度は、男女共に年代ごとの差はほとんどないが、男性は50歳代以下で、女性は40～70歳代で高くなっている。
- 「アイヌの人々の人権問題」の関心度は、男女共に低いですが、男性は20歳代で他の年代に比べてやや高く、女性は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
- 「外国人の人権問題」の関心度は、性別や年代による差はほとんどないが、40歳代女性で他の年代に比べてやや高くなっている。
- 「感染症患者等の人権問題」の関心度は、女性は年代ごとの差はほとんどないが、男性が若い年代でやや低く、女性との差が大きくなっている。
- 「新型コロナウイルス感染症に関する人権問題」の関心度は、男女共に年代ごとの差はほとんどないが、20歳代男性で低く、30歳代女性で高いため、20～30歳代では男女の差が大きくなっている。
- 「刑を終えて出所した人の人権問題」の関心度は、男女共に年代ごとの差はほとんどないが、50～70歳代で、40歳代以下より高くなっている。
- 「犯罪被害者とその家族の人権問題」の関心度は、性別や年代による差はほとんどない。
- 「インターネットによる人権侵害」の関心度は、男女共に高くなっている。特に20歳代男性、30歳代女性が高く、40歳代以上では年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられる。
- 「北朝鮮当局による拉致問題」の関心度は、男女共に年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、特に80歳以上男性が高くなっている。

- 「ホームレスの人権問題」の関心度は、男女共に20歳代と60歳代以上で30～40歳代より高く、60歳代以上では年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。
- 「性的少数者の人権問題」の関心度は、男性は年代により差が大きいため、20歳代では男女の差がないが、40～50歳代では男女の差が大きくなっている。
- 「人身取引」の関心度は、男性は年代ごとの差はほとんどないが、女性は40～70歳代で高くなっている。
- 「災害時の人権問題」の関心度は、いずれの年代においても女性が男性より高くなっている。女性は年代ごとの差はほとんどないが、男性は年代が上がるにつれ高くなり、女性との差が小さくなっている。
- 「職場での人権問題」の関心度は、50歳代以下では性別や年代による差はほとんどないが、60歳代以上では男女共に低くなる傾向がみられる。
- 「個人情報保護の問題」の関心度は、男女共に高く、性別や年代による差はほとんどないが、30歳代女性で他の年代に比べて高くなっている。